

第4回さくらキャンパス活用検討委員会会議録

日 時 令和3年10月7日(木) 午後2時00分～午後3時25分

場 所 宇和島市役所 6階 602会議室

出席者 委員：8名(欠席者1名)、事務局：5名

1. 開会

2. 議事

議事(1)「利活用類似事例の紹介について」

委員長	<p>それでは、議事に入ります。 まず、議事(1)「利活用類似事例の紹介について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事(1)の「利活用類似事例の紹介について」ご報告をさせていただきます。 前回の委員会において、美術館を活用事例とした施設があれば紹介していただきたいというご意見をいただきましたので、長大において、美術館へ転用した施設に関する利活用類似事例を調査いたしました。 その内容について、長大より説明いたします。お手元に資料①をご用意ください。 それでは、よろしくお願いいたします。</p>
長大	<p>今回は文部科学省の事例集を活用し、廃校を文化施設に活用した事例を集めました。 活用用途は、現代アートの展示施設や、文化芸術の拠点施設等、様々なものがあります。 いわゆる絵画等の展示以外にも、9番のみかんの里資料館等、地域に根ざした事例も見受けられます。 これらの事例のうち、1番、4番、8番の3事例について詳しく紹介いたします。</p> <p>まず1つ目は「鉢&田島征三・絵本と木の実の美術館」という施設で、新潟県十日町市の事例です。 アクセスは良くなく、ICから車で約50分の立地です。 背景としましては、もともと新潟県がアートで町おこしを実施していた中で、市町村も広域行政圏でアートを活用した地域活性化施策を行うこととなり、平成12年に「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ」が企画され、その関連で旧真田小学校を利活用したものとなります。 絵本作家である田島征三氏の世界を表現した美術館となっており、特徴としては地元との連携を図っている点が挙げられます。 地元食材が楽しめるカフェや、季節の行事と関連したイベントを実施したりしています。</p> <p>2つ目は5ページになりますが、北海道新冠郡新冠町の「太陽の森ディマシオ美術館」という施設です。 こちらもアクセスは良くなく、駅前からデマンドバスで約40分、車ではICから約20分となっています。 背景としては、2008年に廃校になり、ネットオークションにかけられていた小学校を、現美術館の理事長が落札し、リノベーションして美術館として運営しているものになります。 「自然との共生」「自然とアートとの融合」がコンセプトであり、自然豊かな宇和島市とも共通点があると思われれます。</p>

また、世界最大の油絵があり、魅力の一つになっています。

3 つ目は、7 ページの東京都千代田区の「3331 Arts Chiyoda」という施設です。

立地状況は宇和島市とまったく異なりますが、美術館にコミュニティスペース、自由に使える空間が併設されており、意見として出ていたシェアオフィスとの複合に共通する部分があると思われるためピックアップしたものです。

大学生や地域からの作品も展示されており、地域活性化の例としても参考になるかと思えます。

9 ページには、美術館に改修するにあたっての留意事項をまとめています。

展示する作品にもよりますが、繊細なものもあるため、照明・空調設備が特別なものになるほか、公共性の高い施設であるためバリアフリーを重視している所が多く、学校のトイレがそのまま使えず多目的トイレへの改修が必要になる可能性があります。

また、カビ対策等の維持管理も必要となります。

下段に移りますが、文化庁の資料によれば入場料のみで運営できている美術館はほとんどなく、大半の施設で自己収入割合が約 3 割であり、残り 7 割は交付金や補助金等に頼っている状況であるとのことでした。

地方美術館の成功事例と言われている金沢美術館においても、グラフのとおり収入の約半分が市からの指定管理料となっています。

このように、公立美術館とする場合は自治体負担が発生するものと考えられます。

10 ページからは、空気調和・衛生工学会論文集より、全国の美術館 140 件へアンケートを実施している「美術館における設備・維持管理に関する調査研究」を載せていますので、参考にいただければと思います。

以上で資料①の説明を終わります。

委員長

ありがとうございました。事務局からの説明が終わりました。

ここで皆様方からのご意見等を伺いたいと思います。

何かご質問やご意見はございませんか。

(質問・意見等なし)

委員長

9 ページには美術館にした場合にかかりのコストが掛かってくるとの資料を付けてもらっています。

〇〇美術館では一度黒字になったことがあり、そうすると税金の仕組みが変わって大きな支払いが発生してしまい維持ができなくなるということがありました。

そういう面もあり、美術館単体では赤字での運営になるのだと思います。

ただ、美術館単体の収支では見えませんが、街に人が入ってくる相乗効果もあると思います。

それでは、特にご意見もないようでしたら、最後に一括してご意見を頂いてもかまいませんので、議事(1)「利活用類似事例の紹介について」を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

議事(2)「さくらキャンパス利活用の検討について」

①「さくらキャンパス利活用の検討にかかる報告事項について」

委員長	<p>続きまして、議事(2)「さくらキャンパス利活用の検討について」に移ります。</p> <p>利活用の検討として、まず、事務局より「さくらキャンパス利活用の検討にかかる報告事項について」説明を願います。</p>
事務局	<p>議事(2)①「さくらキャンパス利活用の検討にかかる報告事項について」ご報告をさせていただきます。</p> <p>報告事項としては、長大へ依頼しているさくらキャンパス利活用検討支援業務における「長大の利活用素案」について、委員の皆様への検討の参考としてご紹介させていただきます。</p> <p>さくらキャンパス利活用検討支援業務については、さくらキャンパスの現状整理、類似事例の分析、利活用の検討のほか、利活用案の作成といった業務内容として長大へ業務を委託しております。</p> <p>これまで、委員会において、さくらキャンパスの現状整理や類似事例の分析などの調査内容の結果を委員の皆様へご報告させていただきましたが、今回は、利活用の素案についてご報告させていただきます。</p> <p>なお、長大においては、第2回のさくらキャンパス活用検討委員会から参加し、委員の皆様からのご意見等もご参考にさせていただきながら、利活用案を検討したと伺っております。</p> <p>お手元に資料②をご用意ください。</p> <p>それでは、よろしくお願いいたします。</p>
長大	<p>資料の2ページをご覧ください。</p> <p>まず、現況整理・類似事例のとりまとめを行っておりますので、簡単に説明します。</p> <p>対象施設は、大学のキャンパスとして利用される以前は国民健康保養センターとして運営されており、宿泊機能と温浴施設、厨房、大ホール等を有していますが、水回りの老朽化が懸念されます。</p> <p>立地状況は、タクシー以外の公共交通で対象施設へ行くことができずアクセスは悪いですが、高台に位置しているため、市街地を一望することができるメリットもあります。</p> <p>また、対象施設周辺は、宇和島市で最も利用者数が多い体育施設である丸山公園に隣接しています。</p> <p>市街地付近に位置しており、市内公共施設、宿泊施設が多く分布している一方で、対象施設は客室以外にも大会議室や教室等があり複合的な利用も考えられます。</p> <p>市のまちづくり方針の一つとして、「地域特性を活かした産業・経済の活性化と雇用の場の創出」を掲げており、企業誘致対策事業や移住・定住促進事業を行っている状況です。</p> <p>また、特色ある農林水産業のまちとして発展しており、宇和島産品の振興事業を行っています。</p> <p>市の災害対策としては、「防災体制・活動の充実」を掲げており、南海トラフ巨大地震による被害の拡大を少しでも抑えるために対策に取り組むことが重要としています。</p> <p>廃校の活用事例としては、諸室の間取りは変えずにワークスペースや合宿、体験、作品展示、地域交流の場等、様々な用途で複合的な利活用をしている事例が多くみられました。</p> <p>保養所等の活用事例としては、宿泊機能を維持したまま利活用している事例が多く、ワーケーション等のビジネス、健康促進との組合せや、合宿機能に特化した事例がみられました。</p>

これらに加えて、活用検討委員会でのご意見を踏まえて、利活用方針(案)を3ページ以降にまとめています。

案1はアートホテル、宿泊+美術館としての活用です。

現施設にある宿泊機能を活かして、客室や会議室、浴場などで作品を楽しめる施設とする案です。

案2は「健康」に特化した宿泊施設としての活用です。

こちらも現在の宿泊機能を活かし、それに健康増進目的の人を取り込める要素をプラスしたもので、フィットネスジムやワークショップ、リゾートワーケーション等の機能を盛り込んだ案です。

案3は丸山公園と連携したスポーツ合宿施設としての活用です。

合宿用の宿泊機能にプラスして、フィットネスジムや、企業・ゼミ合宿ができる機能を盛り込む案となっています。

案4はビジネスのサポートに特化した施設としての活用です。

2階の間取りを変更してサテライトオフィス用の空間を整備するとともに、フリーランスでも活用できるフリースペースも設ける案となっています。

また、案1から4に共通して設けてはどうかという機能として、防災、温浴施設、地産地消のレストランを提案します。

防災については、高台に立地していることから津波避難の指定避難場所としてはどうかというもので、隣接する指定避難所である闘牛場と連携し、宿泊機能の提供等を行うことが考えられます。

温浴施設については、1階にある既存の温浴施設をそのまま活用するもので、宿泊客以外にも、丸山公園で運動後の一般客にも開放して利用してもらうことを想定したものです。

地産地消レストランは、丸山公園周辺には飲食店が無いため、既存の厨房スペースを活用して、飲食を提供してはどうかという提案です。

利活用案の作成にあたっては、対象施設が大規模であるため、各案を組み合わせた複合型の活用方法、複合案①、複合案②を検討しております。

複合案①は案3と案4を組み合わせた「スポーツ×ビジネス」、複合案②は案2と案1を組み合わせた「健康×アート」の案となっています。

資料5ページをご覧ください。

複合案①では、1階は一般客も利用可能な温浴施設とレストランに加え、新たに備蓄倉庫を整備します。

2階には、宿泊機能を生かした合宿施設と、ビジネス利用者のためのコワーキングスペースや、一般利用可能なジムスペースを設け、3階は合宿・宿泊施設として利用する案です。

次に6ページの複合案②をご覧ください。

1階の温浴施設、レストラン、備蓄倉庫は複合案①と共通していますが、これらに加えてロビーや吹き抜けを活かしたアート展示を行います。

2階は客室、ギャラリースペース、多目的スペース等に改修し、3階は客室として改修する案になります。

以上で説明を終わります。

委員長

ありがとうございました。

事務局からの説明が終わりましたが、何かご質問やご意見はございませんか。

(質問・意見等なし)

議事(2)「さくらキャンパス利活用の検討について」

②「利活用の検討について」

委員長

続いて②「利活用の検討」に移りたいと思います。

ここからは、委員内で、これまでの事務局からの報告を参考とし、利活用案に関する議論をお願いできたらと思います。

前回もお伝えさせていただきましたが、最終的に答申書を委員会として完成させる必要があります。

そのため、委員会としてのさくらキャンパスの利活用案をどうするかを決定していきたいと思います。

議論に入る前に、各委員には本日欠席の〇〇委員からの提案書と、前回の資料になりますが、活用案をまとめた資料をお渡ししていますので確認してください。

今回の議論のポイントとして、「単独利用か、複合利用か」「単独提案か、複数提案か」という部分がありますが、今までの議論から、単独提案は難しく、恐らく2案か3案での提案になるかと考えています。

この点はよろしいでしょうか。

また、これまでに委員の中からは美術館としては単独利用しかないとの意見もございましたが、先程の説明でありましたとおり、美術館では維持管理や施設整備にコストがかかることや、収入が単独では費用の5割に届かせることも難しいとお話もありました。

加えて、制度的な問題として、赤字の場合は補填がなされますが、黒字になると公費がなくなり維持ができなくなるというものもございます。

今回は市営施設になると思いますが、市からの財政支援は必ず必要になるかと思われます。

まず、欠席の〇〇委員からのご意見を紹介しますが、美術館として単独利用と、民間企業の誘致によるサテライトワークオフィス及び飲食店として複合利用の2提案となっています。

ここで皆さんにお伺いしたいのですが、今施設にある宿泊、温浴、食堂の機能について、これらを撤去するか、利用するかについてはどのようにお考えでしょうか。

委員

私は最初から施設の再利用はあまりよくないのではという思いがあります。

もしできるのであれば、という話にはなりますが、効果的な施設にするのであれば、再利用では難しいのではないかと考えています。

新設でもうまく使えるのかどうかとの話にはなりますが、新しい方がまだ色々可能性があるのではないのでしょうか。

委員長

新設するとして、場所はさくらキャンパスの場所を想定されていますか。

委員

既存の建物は大きく変えずに合宿等に活用し、前回から話が出ていた美術館等を、新しくフットサル場等に増築する形でもよいのではと思います。

委員

私はもともと既存施設を有効利用するという考えで、おっしゃられた各機能はそのまま使え

ればと考えています。

ただ、食堂はかなり老朽化しているので、そこに費用を掛けるとなると検討は必要かと思いますが、基本的には既存のまま使っていただきたいです。

委員

私も既存の施設・設備で使えるものは使ったら良いのではと思います。

活用に大幅な改修が必要で、その改修を行っても、結局あまり利益が出ないなら改修を行う必要はあるのかなと感じます。

施設を拝見した様子では、宿泊施設はあまり老朽化していない印象でした。

委員

私も複合施設が良いと思います。

既存の施設があるのですから、それを使わないと意味がありません。

温浴施設はボイラーの修理が必要ですが、周辺にスポーツ施設があり、宿泊施設もまだ新しい状態です。

宿泊施設は市街地のビジネスホテルの活用もできるのではと思います。

今回長大さんが作成された複合案では、宿泊にビジネス向けの機能を追加したり、アートも含めたりしていて、これを基に考えていけばよいのではないのでしょうか。

委員

宿泊機能を持たせることについて、〇〇としては反対です。

2030年に国がインバウンドの訪日客60万人という目標を掲げており、2027年には伊達博物館も改築されます。

これに加えて、宇和島に何か突出したものができれば、美術館を推しています。

委員長

答申を2案出すことについてはいかがでしょうか。

委員

それは構いません。

委員

市の将来、財政面を考えると建て替えは負担が大きいと思います。

宇和島には〇〇から勤務で来ていて、地元の方とは違う意見になるかも知れませんが、もう宿泊はいらないと思います。

きさいや広場や〇〇等と合わせた、全体の中のひとつとして活用していくべきで、単独での黒字は絶対難しいですし、市で買う必要性についても、将来負担になるのではないかという懸念は持っています。

市にはノウハウもないため、やはり民間に任せないと難しいでしょう。

施設はそのまま残して、観光の目玉として美術館にしたり、津島やすらぎの里が今使えませんが、温浴施設にしたりして、単身赴任者が休日に宇和島から帰らないようにすれば、お金が落ちるようになるのではないのでしょうか。

美術館をきっかけとして、きさいや広場や〇〇、伊達博物館などありますので、色々と仕掛けはできるのではと考えます。

市内の経営者からは、内子の民泊や、大洲城への宿泊体験等も出てきており、このままでは宇和島まで人が来なくなるのではという危機感の声も出てきています。

市で購入するべきかどうかも含め、購入したとして宿泊する人がいるのかどうか、十分に議論する必要があります。

委員

長大さんの資料にあった、防災、温浴施設、レストランの機能はあった方が良く、景観がかなりよく、宇和島の市街地を一望できるので、ある程度は宿泊場所としても使っていくべきかと思います。

伊達博物館は隈研吾建築都市設計事務所が設計されるとのことで、これを目当てにした

観光客も来るでしょうし、美術館も広報次第で多くの方を呼ぶことができると思います。

宇和島の食事がおいしいということはわかってもらっていると思いますので、博物館や美術館と合わせて、観光客を増やせるのではないのでしょうか。

施設に関しては、複数案で、温浴、レストラン、美術館といった機能がすべて入ればいいなど考えています。

委員長

購入してどう活用するかという利活用提案の大元は、今ある施設をどう有効利用するかという部分でありますので、今ある建物を壊して新設するということはまずありません。

老朽化してはいますが、ボイラーも厨房も修繕は可能ですし、今あるものは使いたいと思います。

私としては、長大さんのご提案よりもビジネスエリアを増やして、企業を誘致して 20 社くらいに入ってもらいたいという思いがあります。

これに対応して会議室や宿泊機能、スポーツが楽しめる施設となればと思います。

宇和島市に人が返ってくるためには働く場所が必要で、観光客から移住ということもあるかも知れませんが、難しいでしょう。

今回、美術館単体と複合の 2 案に絞りたいと思いますが、維持管理にコストを掛けずに収益を上げるのであれば、インキュベーション的な施設、サテライトオフィスの方が収益は出ると思いますし、実際に〇〇県の〇〇では初年度から部屋が埋まり、収益が出ています。

そこに入ってくる企業の方の、スポーツがしたい、会議がしたいといったニーズに応えることが必要です。

宿泊についても、確かに市街地まで下りて泊まってもらえればよいですが、帰りが夜遅くなったりすることもありますので、簡易な宿泊施設があれば助かるかなと思います。

宇和島に人を呼ぶという点でいえば、美術館も良いと思います。

全体を美術館として活用するというのは、将来の観光に関しても大きなメリットになります。

ただ、維持管理、マネジメントをしっかりとする必要があり、補助金が無いと運営していけないということは認識する必要があります。

都会であれば企業からの支援で運営を行うケースもありますが、地方ではなかなか難しいと思いますので、どうしても市のお金を投入する必要が出てきます。

確認ですが、美術館と複合させる施設として、宿泊施設は難しいでしょうか。

委員

立場としては、反対せざるを得ません。

委員長

学習施設や会議室はいかがでしょうか。

委員

特に反対はしません。

委員長

今回提案する 2 案、単独利用と複合利用について、単独利用の場合は美術館にするしかないかと思いますがいかがでしょうか。

委員

美術館単独なら、さくらキャンパスを購入せずに別で作った方がよいと思います。

委員長

ひとつ確認しておきますが、検討委員会から活用案を 2 案出したとして、市がどちらも選ばない、または選んだ結果、費用に見合わない等の理由で施設を購入しない場合もありますので、提案してもその通りになるとは限らないことは了解いただければと思います。

美術館については、民営の美術館であれば黒字にもできますが、先程の説明にあったよ

うに公営では費用の5割にも収益が届いていないという状況です。

国や地方公共団体からの補助金が必要で、大量の申請とそれに対する報告書が必要になり、それがずっと続いていくことになり、単独黒字は絶対に難しいと思います。

ただ、単独利用の提案としては美術館というのは譲れないという意見がありますので、単独利用と複合利用の2案で検討委員会としての提案を作っていければと思いますが、そこに関してはよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長 産業活性化のため、IUターンしてもらうための呼び水として、美術というのは効果的であるとは思いますが、いかがでしょうか。

複合利用であっても、その一部に美術室のようなものを作っても良いのではと思いますが、いかがでしょうか。

委員 突出したもの、そこにしかないものを作るべきだと思います。

「宇和島に来たらこれがある」と思ってもらえるようなものができればと。

委員長 伊達博物館の建て替えも控えていますし、三間にも美術館はありますので、複合施設であっても、宇和島の芸術、美術を紹介する空間を一部取り入れることは、人を呼ぶためには良いかと思いますが、それは構わないでしょうか。

委員 それは構いません。

ただ、全世界から人を呼べる、宇和島の回遊観光の目玉にできる施設として、美術館が欲しいと思います。

委員長 長さんの提案と〇〇委員の意見も見ながらまとめますと、単独は美術館、複合は民間企業の誘致によるサテライトワークオフィスというものになるかと思いますが。

複合については、今ある機能の宿泊、温浴、厨房を残し、ビジネスで来られた方も使用できるようにして、総合的に活用できる施設になればと思います。

抜本的な間取りの改修はせずに、今の施設を活用して、それに複数の機能を盛り込む形です。

長さんからは、これまでの議論も基に、収益性等も鑑みて複合型で2案を出していただいていますので、基本はこれをベースに考えればと思います。

そこで、機能の掛け合わせ方ですが、私としてはこれからのビジネス利用者に向けては、スポーツは必須であると考えています。

1つの施設の中で仕事をしながら、時々気分転換にスポーツを楽しみ、そうすると汗をかきますからシャワーや温浴施設を利用する。

夜は市街地に下りて宿泊してもらうのが一番ではありますが、やはり距離がありますので、簡易な宿泊機能を持たせておいて、そこを企業に借りてもらって泊まってもらう。

これを1週間程度、集中的に仕事をする場所として提供する形とすると、市街地にもお金が落ちるし、施設のランニング費用も賄えるのではと思っています。

将来的に若者が戻ってきたり、学生に地元に残ってもらうためにも、働く場所、雇用を吸収する場所を作りたいという思いがあり、さくらキャンパスがその核となって、そこに人が集まってくれば、市街地にもワークスペースができていくのではと考えています。

温浴施設に関しては、津島やすらぎの里の方がさくらキャンパス改修よりも早くオープンす

ると思いますので、地元の方の利用だとそちらに行くと思いますが、ビジネス利用でさくらキャンパスに来ている人がすぐに入れる場所として温浴機能を付けるのは良いと思います。

仕事や企業誘致のためのスペースについては、長さんの案よりも増やしたいと考えています。

新型コロナの関係で地方に移転しようとしている企業は多く、〇〇島にも大きな企業の移転があると聞いており、新型コロナの終息後も、東京集中には戻らないと考えています。

都内では10月から制限が緩和されましたが、歓楽街になかなか人が戻ってきていないらしいです。

あまり喜ぶものではないですが、タイミングとしては、地方にとっては都合がよい部分もあり、就労の場、企業を連れてくる仕組みを作れば、将来にも好影響が見込まれます。

そのためには、施設の間取り、企業誘致に使うスペースや食堂等の附属スペースの割り当てが重要になりますが、そこは今後検討していければ良いと思います。

個人的にはこのような使い方がベストだと考えていますが、委員の皆様はいかがでしょうか。

実際は〇〇委員の提案に近い形で、単独は美術館、複合は民間企業の誘致によるサテライトワークオフィスと飲食、温浴、これにスポーツも絡めていく。

今のIT系のビジネスマン、特に若い方は絶対にスポーツをされますから。

施設への交通手段については、ターゲットを定めた後でも検討はできると思いますが、ITインフラは必須になります。

これを含めて、よりこうの方がいいとか、別の案でも構いませんので、何かご提案ございませんでしょうか。

委員 スポーツに関しては、丸山公園が宇和島市民にとってスポーツできる場所の一つになっているということはありますし、この検討委員会でも説明がありましたが、丸山公園の再整備計画がありますので、トレーニング施設等はそちらで対応してもらった方がよいのではないかと思います。

委員長 私も、さくらキャンパスの建物の中にジム等のトレーニング施設は必要なく、あくまで合宿に来た時に宿泊することができる場所として、スポーツとは「関連している」くらいでよいのではないかと思います。

企業の方は関連していなくてもスポーツはされるでしょうし、建物の中の食堂やシャワー等について、スポーツをされる人も使える、誰でも使えるという形でよいのではないのでしょうか。

一方で、美術館については空調や照明等の設備関係、防犯等も含めて全体的に管理をしていく必要があります。

そのため、複合型に美術関係を盛り込むとしたら、全体的な管理ができませんので、簡易的な美術室を設けるくらいしかないかなと思います。

複合型にして、美術を見に来られた方が同じ建物内に宿泊するといった場合には、完全にセキュリティを分ける必要がありますので、この点も考えておく必要があります。

委員 私は宿泊施設が良いと思いますが、徒歩圏内にトレーニングできる場所があるため、ジムはいらないと思います。

ただ、ミーティングルームは必要ですので、残していただきたいです。

委員長	企業の会議や発表で使われることもあるでしょうし、大会議室も必要ですね。
委員	私は複合施設一択だと考えています。 ただ、外からの人だけでなく、地元の人も使える施設でないと意味がないと思いますので、そのようなコンセプトで検討していただきたいです。
委員	宿泊機能については、スポーツ合宿や、仕事の合間の仮眠といった形で、本格的な宿泊機能は市街地のビジネスホテル等の民間に任せるべきだと思います。 飲食も同様です。 施設としては長大さんの案のように複合化は必要だと思いますが、そういった利用の場合に自前でお金を稼ぐことは難しいですので、市から運営費、ランニングコストを補助していただけるのかというところが気になります。
委員長	断言はできませんが、可能だと思います。
委員	補助を見込むかどうかで、運営方法や施設の中身も違ってくると思います。 それと、複合施設にする場合に、一部の空間を美術展示に使用することには賛成です。
委員	今回の資料に美術館の運営経費をまとめていただいているのですが、では他の施設であったらどうなるのか、美術館よりも赤字は少ないのかはわかりません。 ただ、市が購入した場合には、指定管理者制度が活用できますので、例えば〇〇では美術館のノウハウを持った〇〇に委託するなどしています。 私の意見としては宇和島に美術館が欲しいというところが最初にありますので、それが実現できればと思います。
委員	市で購入するなら、美術館をメインにしてアピールするしかないと思います。 サテライトオフィスについて、先程お話のあった〇〇島の事例については、社長が〇〇島出身であったことから、その意向で地元に関心を持ってきてきたと聞いています。 現在、企業では店舗・支店を減らしている状況で、特に都会ではホテルで安くテレワークができる場所も出てきており、利便性を考えると、わざわざ宇和島に来る企業があるのかという疑問があります。 もし複合型として、美術館に宿泊や温浴も含めていくということであれば、市での購入はしない方が良いと思います。
委員	先程美術館は管理が難しいというお話もありましたが、美術館であれば、さくらキャンパスとは別に建てた方が良いと私も思います。 そのうえで、さくらキャンパスとしてはコワーキングや企業誘致、移住定住の人が入って宇和島での生活を体験できるような施設になれば、宿泊も仕事もできる部屋があれば、ショートステイや、それがきっかけとなって移住したりする可能性もあります。 ただ、私もトレーニングジムはいらないと思います。 また、宿泊施設として使う場合、そこまで部屋数は無いように見受けられますので、他のホテルへの影響はそれほどないのではないのでしょうか。 そういったこともあり、複合的な施設として使用できればと思います。
委員長	宿泊を目的として来てもらうのではなく、スポーツに来られた方や、会議に来られた企業の方が泊まるための簡易的な宿泊ができれば良いと思いますし、さくらキャンパスで部屋や施設が足りない場合は市街地に下りてもらえば良いと思います。

スポーツ合宿については、大型合宿になると大人数が寝る場所を用意する必要もありますので、施設のスペースが足りておらず、また、整備をしても利用は年数回と稼働率が低いのではといった懸念があります。

コロナ禍が落ち着くとスポーツ合宿も復活してくると思います、スペースの有効活用の点からみると、あまり良い使い方ではないのかなとも思います。

〇〇学校で行われているまちづくりの議論でも、生徒達から山の上の跡地の活用を考えたいとの声が出ていました。

なぜそれが出てくるかというと、中高生も自分たちが使える施設がよいという思いがあるのだと思います。

宇和島の問題は人口減少と、出て行った人が帰ってこないこと、仕事はあるけれど求人に応募がマッチしていないことで、新しい仕組みづくりが必要と考えています。

そのためには子ども達の働く場所が必要で、さくらキャンパスをビジネス用途で使う場合、入る企業は県外からは1~2社で、むしろ地元の企業に入ってもらって、県外への情報発信を担ってもらい、県外と市内企業とを繋げてもらうようになればと考えています。

人や子どもが残れる場や、IU ターン含めて、人が返ってくる仕組みの核として機能していただきたい。

美術館については、インパクト、集客力が強く、全体を美術館にしてうまくマネジメントすれば世界中から人が呼べると思います。

以前、フィンランドへ行った際に、真珠養殖を見たいと言われたこともあり、海外から宇和海への注目はあると思います。

そういった情報の発信を行うためにも、指定管理等に地元の人・企業にも入ってもらいたいと考えています。

〇〇県でも美術館での集客はすさまじいものがありますが、やはり美術館単体で見れば赤字です。

それでも、注目度が高ければそれだけお金も集めやすいし、逆にうまく情報発信ができず見限られてしまうと、それも難しくなってしまうということがあります。

ここまでの意見から、2案を提案するうち、複合案については長大さんの複合案①にアートを含めた「スポーツ×ビジネス×アート」をコンセプトとしてはどうかと思います。

健康については不要とのご意見がありましたが、アートについては一部分をアートに利用してはどうかとの意見もございました。

一方、単独利用については、やはりインパクトが強いので、美術館としての単独利用という案かと思います。

市が購入するなら単独の美術館が良いというご意見もございましたので、この会での検討の結果としては、この2案でまとめたいと思いますがいかがでしょうか。

委員

良いと思います。

委員長

それではまとめますが、答申としては単独施設と複合施設2つの案を提案することとし、単独施設の場合は美術館としての利用とします。

複合施設の場合は「スポーツ×ビジネス×アート」をコンセプトとして、人が集まる、企業が繋がる仕組みを作る、また、運営に関しては地元の企業やNPOも入る形をお願いしたいということ盛り込んでいく。

このような形でよろしいでしょうか。

	(異議なし)
委員長	それでは、この内容で事務局にまとめ直していただいて、11月に改めて確認を行ってから答申として決定していくということよろしいでしょうか
委員	現在施設にある間仕切りは取り除いて利用になるのでしょうか。
委員長	その検討は購入後になるかと思えます。 有効活用するために必要がないとなれば取り除くことになるでしょうし、特に美術館単独では湿気があるといけませんので、温浴施設等の水場も取り除いたり、防犯関係を強化したりといった改修が必要になります。 複合案の方では、基本的には今の構造、特に温浴施設や厨房、宿泊施設はそのまま残してもらい、スポーツ後に汗を流したり、関係者が宿泊できるくらいの場所になればよいと思えます。
事務局	2点確認をさせていただければと思います。 まず1点目、美術館については、検討の中で特定の芸術家のお名前が出てきていたのですが、仮にその方に引き受けていただくことができなかったとしても、美術館として活用していくということよろしいでしょうか。
委員	市民の方からの意見募集では多くの方が特定の芸術家のお名前を挙げておられましたので、一度お話をする必要はあると思えます。 ただ、私の意見は特定の芸術家を前提としたものではなく、純粋に宇和島に美術館が欲しいというものです。
事務局	2点目ですが、美術館を作るなら建て替えや別の場所というご意見もございましたが、既存の施設を再利用する場合でも、単独利用であれば美術館ということよろしいでしょうか。
委員	はい。 ただ、再利用でみすばらしいものになってしまうと意味がないとは思えます。
委員長	建物は頑丈ですし、形状も悪くないのでそこは大丈夫だと思います。 セキュリティ等も含めて美術館として使えるかどうかは、もし美術館と決まったら専門家で対応されるでしょうし、もしかしたらその段階で再利用はできないという判断が行われる可能性はありますが、答申としては、活性化のためには外から人を呼ぶ目玉になる美術館にしてもらいたいという案を出すということによいと思えます。 それでは、これまで議論してきた内容をもとに、事務局においては答申書案を最終案として修正し、次回の活用検討委員会において説明を行うようにしてください。 それでは、議事(2)「さくらキャンパス利活用の検討について」を終わらせていただきます。 ありがとうございました。

議事(3)「その他」

委員長	続きまして、議事(3)その他に移ります。議題としては、設けておりませんが、議事として何か提案・報告等はございませんでしょうか。
-----	---

委員長	<p>(特に提案・報告等なし)</p> <p>以上で、本日本日予定しておりました議事をすべて終了いたしました。</p> <p>次回の検討委員会が最終の委員会になるかと思われます。</p> <p>第5回検討委員会においては、答申書案の協議になるかと思われますが、事務局においては、本日の会議を受け、次回検討委員会までに答申書素案の作成をお願いします。</p> <p>これをもちまして、私の議長としての役目を終わらせていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。</p>
-----	--

3. 閉会

事務局	<p>委員長、ありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして、第4回さくらキャンパス活用検討委員会を閉会いたします。</p> <p>次回の開催は11月中旬ごろを予定しております。開催日につきましては、日程が決まり次第、ご連絡させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>
-----	--